自分や相手を理解し、認め合う姿を目指す

心のバリアフリー授業

本校では、障害の有無に関わらず、自分や相手を理解し、認め合い、思いやりの心をもって関わり合う共生社会の実現に向けて、「心のバリアフリー授業」を推進しています。

児童生徒の発達段階や、特別な教科道徳や総合的な学習の時間などにおける学習のねらいに合わせて、担当の先生方と一緒に授業づくりを進めます。

小学生だけでなく、中学生や高校生、一般の方などにも対応しています。

※令和５年度まで「障害理解授業」として進めてきた取組を、天王みどり学園では、令和６年度より「心のバリアフリー授業」と名称を変更して実施しています。

＜内容例＞

小学生を対象に、下記のようなプログラムを、他の特別支援学校と共に設けています。参考にしてください。

1年「いろいろなともだちがいるよ」
絵本、体験活動、
友達となかよくなるためのポイント
＜担当：天王みどり学園＞

2年「いろいろな工夫をみつけよう」
クイズ、体験活動、
いろいろな人のための工夫
＜担当：天王みどり学園＞

3年「耳のきこえない、きこえにくい人を理解しよう」
基礎知識、疑似体験、関わり方の工夫
＜担当：聴覚支援学校＞

4年「目の見えない、見えにくい人を理解しよう」
基礎知識、疑似体験、関わり方の工夫
＜担当：視覚支援学校＞

5年「手・足など身体に不自由のある人を理解しよう」
基礎知識、疑似体験、関わり方の工夫
＜担当：秋田きらり支援学校＞

6年「自分もまわりの人も大切にするために」
いろいろな感じ方の違い、疑似体験、
安心できる工夫
＜担当：天王みどり学園＞

※上記の中の聴覚、視覚、身体に関する内容を希望する場合は、直接、担当校へ御連絡ください。

「心のバリアフリー授業」（担当：天王みどり学園）の進め方

【計画】
ねらいや期待する姿を基に、時期や内容を計画しましょう。

【相談・依頼】
下記の連絡先へ御相談ください。日程等が決まりましたら、派遣依頼文書の作成、送付をお願いします。（様式：本校 HP）

【事前打合せ】
本校職員が学校へ伺い、具体的な内容や当日の役割等について打合せを行います。

【当日】

道徳科の教科書、県障害福祉課発行の副読本、心のバリアフリーノートなどを活用した事前、事後学習をおすすめします。

秋田県立支援学校天王みどり学園

教頭：渡部　陽子　　教諭（兼）教育専門監：小野　直子　　支援部：遠藤　美和子

TEL：018−870−4611　　FAX：018−870−4612

E-mail：midori-s@akita-pref.ed.jp